|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(36)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2025年9月6日　週間祈りカード | | | | | |
| △産業宣教/金土日時代のやぐら32  産業人が見るべき RTS(Ⅰ列18:1-15) | △RTとTCK伝道学/三つの庭のモデル32  レムナントが見るRTS(Ⅰコリ16:18) | | | △核心/RTS 主日  主のしもべを育てる24の人々(イザ62:6-12) | |
| △釜山で最初に始めたとき、システムから拡張させた。釜山13地域を分析して、300か所に同時にみことば運動を行い、すぐに訓練システムに入った。38年間、全国世界で牧師が起きて伝道運動をし始めた。これが多民族に伝えられている。  △多民族が地方には多い。ピョンテクでは、小学校の80%が多民族、韓国の人が20%しかいない。国際学校を作りなさい。多民族の親たちの一番の心配が子どもの教育だ。これを助ける教会がなければならない。RTSの中には外国人が多い。活用しなさい。その学生は使命を持ってきているので、どこでも来る。黙想時代が何かを見て祈りの庭と子どもたちの庭、癒やしの庭を作りなさい。産業人がRTSをどのように見なければならないのか。   |  |  | | --- | --- | | オバデヤ | I列18:1-15 |   オバデヤは重職者で、産業人だった。  □本論  1.100人  いのちをかけて100人を隠した。自らの使命と職位、預言者が死ぬ危機を活用して献身した。  1)時代を見たこと  計算が必要ない。多民族時代、郊外時代が来る。病気時代、霊的問題時代をそのまま置いておいてはならない。  2)霊的  霊的なことを見たのだ。重職者1人が本当に契約を握ったら、働きが起きるのだ。  3)長所　エリヤとエリシャの長所が何かを見たのだ。長所を育ててこそ短所がなくなる。レムナントを起こして、癒やしに関心を持って、病んでいる者に確信を与えることができるべきだ。  2.7000弟子を残したが隠れた役割をオバデヤがした。  1)目に見えない働きを継続したのだ。  2)世代交代を見たのだ。エリヤからエリシャへ。  3)7千弟子を集める時刻表  3.ドタンの町運動に変わった。  1)I列19:19-21主のしもべを最高に作る時代がきたのがドタンの町運動だ。最高の危機のとき、エリシャを呼んだ。すべてこと、すべての条件をみななくして、ついて行った。  2)Ⅱ列2:9-11エリコ、ベテル、ギルガルをエリシャは拒否して、これ(Ⅱ列2:9-11)を下さいと言った。  3)Ⅱ列6:8-24ドタンの町運動を行った。これをみな支援した人がオバデヤだ。  □結論\_どんな結果か  1.勝利　戦わずに勝利した。  2.答え　私の考えが全く必要ない答えを受けた。  3.Everybody　イスラエルだけを生かしたのではなくて、アラムの国も生かしたのだ。 | □序論  1.福音+実力  福音が本当にあって実力があるレムナントを牧会者候補生として支援しなければならない。  2.伝道、宣教300%  伝道、宣教は300%あらかじめ準備しなければならない。普通7年勉強するので、すべてすることができる。  3.RTS、RLS、RGS、教会  RTS、RLS、RGS、教会が完全にインターンシップの場になるようにしなさい。  Summer School、Winter Schoolを通して特別な訓練をさせるのだ。長くする必要はない。教会でもすべきだ。学生たちの休みを活用してWRCで訓練を受けたこと適用させるのだ。  □本論  1.Ⅱテモ2:1-7常にすべきこと  1)競技する者  2)兵士  3)農夫 | | 2.使18:24-28  1)水のバプテスマが必要だとアポロにこの話をした。  2)聖霊のバプテスマはそれよりさらに重要なのだ。  3)RT働き人-この契約を握った後、アポロは完全にRT働き人になった。  3.コロ4:7-8三つの正確性  1)パウロの事情と  2)信徒の事情を正確に伝達することができる人  3)現地の事情を正確に見ることができれば無条件、伝道に成功する。  □結論  1.使17:1-4遠く見通してテサロニケに行ってキリストに対する完全性を説明した。  2.使18:1-4遠く見通して会堂に入って行き礼拝と祈り、信仰生活が何かを教えた  3.使19:8答えが何かを教えた、このレムナントが後ほど世界現場に行く。 | RTS人を通して世界福音化されるのでRTSを置いて常に祈りなさい。RTSは理由がない。答えを受ければ何も問題になることはない。  □序論  1.霊的問題-人生の本質-祈り24(7やぐら)、祈り25(旅程)、永遠(作品)  未信者-皆さんの霊的問題はキリストだけが解決することができる。神様に会う道はない。わざわいを止めることはできない。サタンに勝つことはできない。それゆえ、キリストを約束された。人生の本質が同じでなければならない。すなわち、イエス様が教えられた祈り24(7やぐら)、神の国(祈り25)が同じでなければならない。それでこそ、旅程を行くことができる。道しるべが同じであってこそ作品が出て来る(永遠)。  2.道-目標-金土日(力)、3庭(癒やし)、黙想時代(サミット)  新しい家族-道を分かってこそ答えを味わう。そうするならば、目標が合わなければならない。金土日時代に大きな力を得なければならず、3つの庭で癒やしが起こり、黙想時代にサミットにするのだ。  3.真の助け-祈り疎通-ピリ1:3-4、Ⅱコリ1:11、ロマ16:1-2、16:3-4、16:23  重職者-真の助けは重職者と牧会者が祈りで通じなければならない。牧師はいつも重職者を置いて祈らなければならない。牧師と神学生たちのために祈れば、伝道の門が開く。皆さんは、主のしもべの支援者、同労者、家主にならなければならない。  △生活の本質、目標、祈りが同じでなければならない。RTSの人はどこへ行っても生かさなければならない。十分の一献金は神様のことなのに十分の一を出さないで教会の予算が足りなく、伝道を知らないので悪く言われるのだ。変えなければならない。世界福音化は福音を持っている人、持続する人がすることだ。  □本論\_証拠-神学生、牧師のために祈ったが受けた答え  1.旧約時代  モーセを助けたイテロ-出エジプトの働き  契約を置いて祈ったハンナ-ミツパ運動  エリシャを助けたオバデヤ-ドタンの町運動  イザヤのみことばを聞いたレムナント-バビロン運動、神殿再建運動  2.新約時代-無力な人々が契約を握って集まったがローマまで征服  3.パウロ宣教チーム  1)アジア　　2)マケドニア　　3)ローマまで征服  皆さんは霊的問題を癒やす霊的医者、道を案内する霊的見張り人、世界を生かす霊的指導者だ。  △みことばと祈りが生きて働くのを握りなさい。伝道が見えなければならない。多民族を集めて、生かすことができるシステムを作りなさい。 | |
| △散らされた弟子たち/7∙7∙7のモデル32  散らされた弟子たちの準備(使9:15) | | |
| 結局は散らされた弟子たちが答えだ。  1.祈り300%、  多民族弟子、散らされた弟子たちは無条件に祈り300%を作りなさい。それが7やぐら、旅程、道しるべだ。パウロは「王たちの前に立てる選びの器(使9:15)」「神の国のこと(19:8)」 | | 2.訓練300%  散らされた弟子たちは無条件、訓練300%をしなさい。伝道訓練だ。パウロがアンティオキア教会でその訓練をみな見つけ出した(使11:25-26)  3.未来300%(使18:1-4)  プリスカ夫婦に会った。未来準備300%。  ホナムにいるすべての牧師、300%を始めて、モデルになるように契約をしっかりと握りなさい。 |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(36)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2025年9月7日　週間祈りカード | | | | | |
| △区域メッセージ第36週  地域福音化(Ⅰコリ16:19) | | △聖日１部/RTS 主日  主のしもべたちを生かす信徒(Ⅰ列 18:1-15) | | | △聖日２部  神様が与えてくださる最高の機会-多民族宣教(使 8:26-40) |
| 訪ねて行くのも重要だが、さらに重要なのは、来るようにさせることだ。私たちが作っている3庭、金土日時代、黙想時代は大路を作ることだ。成就する時刻表になれば、すべての部分に答えが来るだろう。来るようにさせる伝道を地教会と言う。  □序論\_ 5基礎  1.タラッパン-キリストで答えが出た人が集まる所。マルコの屋上の部屋に行けば死ぬかもしれないが、人々が集まったのだ。問題が来ても答えがあるから大丈夫で、危機のとき、みな答えを受けるのがタラッパンだ。  2.チームの働き(答え) -会う人に真の答えをあげると、働きが起こるしかない。  3.M.H-家庭、家系が生かされる。  4.専門教会、専門社駅-暗闇経済崩れて、光の経済起き始める。  5.地教会(Iコリ16:19) -プリスカの家にある教会が地教会だ。大変な人々、病んでいる人、霊的問題を持っている人、これから世界を福音化する人材も訪ねて来るようになる。  □本論\_重要な答え  1.聖霊の満たし-導き-門（道）　使13:1-4  聖霊に満たされれば一番最初に聖霊が私たちを導かれる。  1)道-聖霊に導かれるから道が見える。  2)場所(こと)-その場所に起こることがある。  3)人に会うようにさせて暗闇が砕かれてしまう。  2.聖霊の満たし-働き-ネフィリム  ネフィリムが砕かれる。「聖霊が臨んでサタン縛られれば神の国が臨んだ」  1)使13:5-11暗闇が完全に打ち砕かれる。  2)使16:16-18悪霊が追い出される。  3)使19:8-20不治の病が癒やされる働きが起こる。  3.聖霊の満たし-実-未来  聖霊の実ができれば、未来が見える。祈れば、そのままのことが起こる。全く目に見えないので、ほかの人が取っていくこともせず、競争者もいない。  1)使13:12未来が見える実、総督が弟子になってしまう。  2)使16:15マケドニアでリディアが地域を生かす。  3)使19:21ローマも見なければならない。  □結論\_方向-目標  1.みことば成就する時まで続けて味わうことを編集と言う。  2.祈りが成就する時まで続けて味わうことを設計と言う。  3.現場に伝道が成就する時まで続けて味わうことをデザインと言う。  △「キリストはすべての問題解決者だな」終わったのだ。レムナントはこれが習慣になるべきだ。祈りが休息で、力だ。今日一日中、みことばを刻印させて、六日間祈りになるくらい集中して礼拝をささげなければならない。それで終わりだ。そうすると、このような答えが与えられる。 | | □序論\_先に力と答えから受けなさい。  1.24、25、永遠という祈りの奥義を持っていたオバデヤ  1)ダビデ-幼い時から神様の答えを味わう力を所有  2)ヘブ11章-世の中がふさわしくない人々(ヘブ11:38)  3)パウロ-いつでも聖霊にあって祈り、祈りの深い力の中に(エペ6:18、Ⅱコリ12:1-10)  2.オバデヤが受けた答え-300%  1)伝道弟子として300%が準備された人  2)臣下として300%が準備された人  3.300% -聖霊の満たし  1)私100% 　2)現場100% 　3)未来100%が準備されている。  □本論\_危機時代に三つのことを味わったオバデヤ  1.100人弟子の隠れた家主-カルメル山の証拠  1)エリヤが最も信任する弟子、王に最も必要な臣下であった。  2)カルメル山事件の中間の役割をした。  3)霊的戦争に完全勝利-暗闇が完全に砕かれた。  2.7千弟子の隠れた後援者-ホレブ山の証拠  1)死の危機にあったエリヤがえにしだの木の下に倒れたとき-主の使いが遣わされて力が与えられた。  2)ホレブ山で与えられたみことば-7千弟子が残っている。エリシャを後継者として立てなさい。アハブ王をわたしが変える。  3)隠れた後援者オバデヤ-皆さんが神様が与えられる力を受ければすることができる。  3.天の軍勢を動員した弟子-ドタンの町の証拠  1)はじめからこの神様の力を天命として受けたエリシャ  (1)最も危機のとき、すべてを捨ててエリヤについて行ったエリシャ  (2)計算せずに最後までついて行って、霊の二倍の分を求めたエリシャ  (3)ドタンの町運動を起こしたエリシャ  2)エリシャが持っていた祈りの力-アラム軍隊の動きをすべて知った。天の軍勢が動員されてイスラエルとアラムを生かす働きが起こった。  3)神様の力を知る信徒一人の献身が完全に時代を生かした。決断を下しなさい。  □結論\_決断  1.契約を握りなさい-神様の力で世界を生かすことができる。  2.決断をくだしなさい。  1)事件の中で神様の力を見る力を与えてください。  2)オバデヤのように時代を逃さないようにさせてください。  3)戦わずに勝つ力を与えてください。  3.覚悟して祈りなさい-RTS弟子育てるほど力を与えてください。  1)マーティン・ルターを助けた重職者  2)マッケンジー宣教師を助けたオーストラリアの信徒  3)私たちの祈り-私の残りの人生に次世代の中で福音を真っすぐ伝える多くの神学生を育てて世界へ送り出すように。そして、神様の力を体験することができますように。エリシャに遣わされた天の軍勢を今動員してください。 | | | □序論\_イエス様が強調されたこと  マタ6:10、6:33、10:7、使1:3、19:8神の国  終りの時代=２つの国の戦いが続く(霊的戦争、宣教)知っている人は静かにしていても答えを受ける。  滅亡(だましごと)でずっと引っ張っていく。初めから今まで続いている  3、6、11私を利用、私のことが全て(ネフィリム)、神様を信じないでも力がある。  13、16、19三つのあがき-サタンに捕えられて占術に陥って偶像に捕えられる。  ヨハ8:44,出20:3-5,マコ5:1-10,使8:4-8,ルカ16:19-31,マタ27:25  悪魔に引きずられて行って、サタン崇拝する。精神問題、ストレスで病気になる。地獄背景、生きることが地獄。霊的問題が次世代にそのまま行く。これがサタンの国が成されているのだ。  ヨハ16:11-14,Ⅱコリ4:4-5,マタ12:26-30,マタ12:43-45  私たちを握って王の役割、人間を握って神のように行動、私たちの中にサタンが家を建てた。掃除して空けたら七つの悪霊が入ってきた。  キリスト-神様の至急な約束、信じれば良い。  御座が私の背景。今、成されている。御座が神の国として臨んで神の国のことで成就する。  私の中に御座のやぐらが建つ。御座の旅程を行くのだ。行く所の暗闇を打ち砕く御座の道しるべを建てるのだ。神様が皆さんを見張り人として呼ばれた。  □本論\_このことがわかれば、すべての祝福を持って来てくださる。  1.だれに　わざわい止める者に  RT7-ヨセフ、ダビデが今どこにいるかにより神様は時刻表を回された  2.何を持って行ったのか  1)主の使い(26)が私の生活に語られているなら。  2)主の御霊(29) -預言されたキリスト説明、バプテスマ  3)主の霊(39) -皆さんの働きは最初で、最後。永遠なことになるようにしなさい。  3.いつ　奴隷、捕虜、属国の理由を分かるべき  1) 237がいる国に行きなさい。237か国の人を呼びなさい。  2) 5000種族に入って行きなさい。  3) TCK,CCK,NCK -捨てられた次世代、完全に暗闇文化に陥った次世代、文化の外にいる次世代に行きなさい。  □結論\_準備  1.病んでいる者が一人で祈り、相談できるシステム、レムナントの憩いの場、多民族が自分の家のように感じる気楽なところ  2.奇跡-多民族の中で準備された使命者が来ていること、キリストを説明すべき  3.ひとりが一つの国だけ祈っても良い。  △主が再臨して来られる時まで２つの国の戦いは続く。私たちはこの戦いをするのだ。次世代がこの力(本論)を持って出て行かなければならない。 |